



**2013年1月6日(日)
~3月3日(日)**

■体験教室「わらぞうりを作ろう」

2月3日(日) 13時~16時

定員15名 参加無料

電話でお申し込みください。

◆民話の会とイエローラインプロジェクトによる

劇「ばあちゃんの織った木綿にや
かないはせん」と綿繰り体験

2月17日(日) 14時~15時

定員60名 参加無料 当日受付

★市民歴史大学「古代寺院と仏教」

1月12日(土) 13時30分~

小笠原好彦氏(滋賀大学名誉教授)

「軒瓦からみた船橋廃寺の性格」

2月9日(土) 13時30分~

中林隆之氏(新潟大学准教授)

「仏教の受容と古代社会」

いずれも定員100名 参加無料 申込不要

柏原市立歴史資料館

月曜休館 入館無料 開館時間9:30~16:30

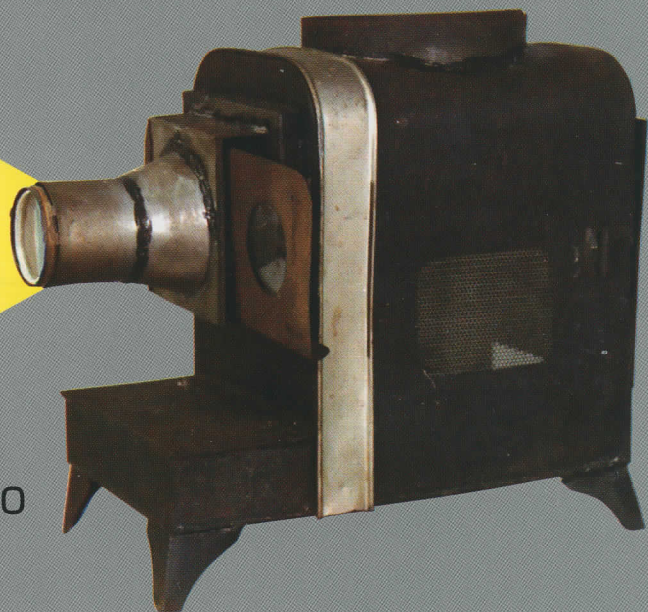
大阪府柏原市高井田1598-1 電話 072-976-3430

交通: JR大和路線高井田駅から徒歩5分

近鉄大阪線河内国分駅から徒歩15分

3
昔話の風景

ちよつと昔の
道具たちの

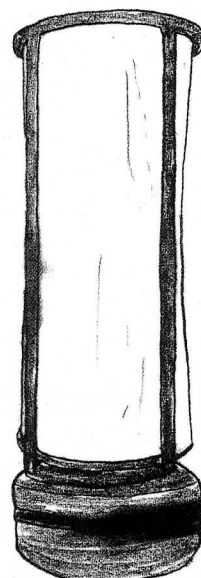


むかし ばなし ふう けい
～ 昔話の風景 ～

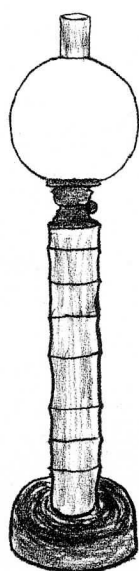
夜ねる前に、ふとんの中でおかあさんやおとうさんから、
むかしばなし 昔話を聞いたことがあるでしょうか。また、いっしょに絵本
えほん を見ながら、読んでもらったことがあるでしょうか。「むかし、
むかし、あるところに……」。

こどものころの昔話の思い出は、話のおもしろさだけでなく、話をしてくれる人のあたたかさとともに、わすれられないものとなっている人も多いと思います。

むかしの人も、あんどんやランプのかすかな明かりのもとで聞く昔話をとても楽しみにしていました。もっともっととおねだりをして、おかあさんをこまらせたこどもも多かったことでしょう。まだ字が読めないころには、絵本を見ながら同じ絵本をなんども読んでもらうこどももたくさんいました。ようやく字が読めるようになると、こんどはじぶんでなんども同じ絵本を読んでいました。今のようにテレビやゲームがないころは、絵本がこどもたちの楽しみだったのです。



あんどん



ランプ

この展示では、昔話をしょうかいしながら、昔話に出てくる道
てんじ 具を集めてみました。「ぶんぶくちゃがま」「浦島太郎」
うらしま たろう 「カチカチ山」「かさじぞう」などのおなじみの話だけでなく、地元
じもと つた に伝わる「ひらいかんのん」や「赤馬伝説」
あかうま だんせつ なども取り上げてみました。

昔話や昔の道具を見ながら、昔のこどもたちが、どんな生活
せいかつ をしていたのか考えてみてほしいと思います。そして、いろいろな昔話を、これからのこどもたちにもものこしていくことができればいいなと思います。

てんじ しりょう

— 展示資料 —

あんどん、ランプ、たばこぼん、茶がま、ばんがさ、糸車、
いとぐるま 幻燈機、げんとう き しょいこ、つりざお、びく、はたおり、絵本、かいだんたんす、ちゃぶだい、ラジオ、とけい、おひつ、ひばち、たんす、きょうだい、なべ、かまなど